

# 非常開錠キー付きダイヤル錠の操作方法について

- ご使用にあたっては、ダイヤル錠の暗証番号を設定してください。下記の通り設定及び変更方法をご説明いたします。
- ご注意
  - 設定した暗証番号は忘れないようにメモ等に保存して下さい。
  - 非常開錠キーはあくまで非常用のキーですので、常時このキーを使って開錠しないで下さい。(破損の恐れがあります。)
  - 暗証番号が不明で非常開錠キーで開けた場合でも、不明になった番号を探し当て再度、ダイヤル錠で使用することができます。→番号が不明になったダイヤル錠は当社まで送って下さい。再度、0-0-0-0に設定して送り返します。(この場合、お客様から当社、当社からお客様の運賃はお客様のご負担になります事をご了承下さい。)



## 初期状態

工場出荷時の暗証番号は「0-0-0-0」に設定してあります。この暗証番号でも使用は可能ですが、新たに暗証番号を設定してからお使い頂く事を推奨しております。



## 開錠方法

暗証番号を設定し、(出荷時は0-0-0-0のまま)ツマミを右側にスライドさせれば開く事ができます。



## 暗証番号設定方法

BOXを開けて、キー装置の側面・黒部分をマイナスドライバー等で挿して、90°に回転させて下さい。



黒い部分が①で凹んだ状態になったら番号設定が可能です。



設定可能な状態になったら、表のダイヤルキーをお好きな暗証番号に設定します。



写真では「3-8-4-2」が設定されました。(番号は忘れないように、メモをしていただくことをお勧めします。)



設定が終われば、裏面・キー装置の側面・黒部分を再度90°に反転させて、もとの状態に戻します。これで設定は終了です。(黒い部分が②に戻ります。)



## 非常開錠キーの使用法

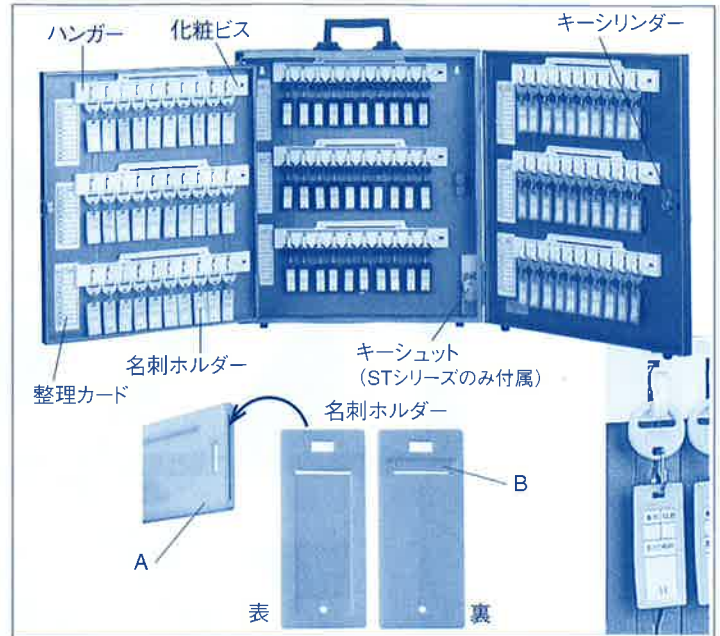
番号を忘れてしまった場合は付属の非常開錠キーでの開錠が可能です。黒いカバーを左にスライドさせて開錠穴を出して下さい。



非常開錠キーを使って開錠して下さい。(非常開錠キーはあくまで非常用のキーですので、常時このキーを使つての開錠は避けて下さい。)

# キーボックス 部品取付のご説明

## 各部の名称

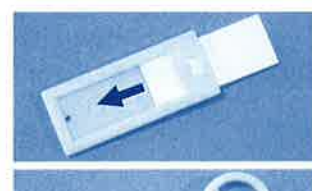


## ハンガーのはずし方

化粧ビスを矢印の方向に回して、少しだけゆるめます。



次に、ハンガー本体を左方向へスライドさせると、本体裏面の止め金具がはずれます。そうして、ハンガーを手前に引いてハンガーを取り外します。  
※ハンガーを止める時は、逆の操作をしてください。



## 名刺ホルダーのカードについて

名刺ホルダーのカードの出入は、Aからカードを差し入れます。



ただし、バネフックを付けたままの場合は、Aからは出入が不可能ですので、裏面Bから差し入れてください。

No.	NAME	No.	NAME
1	A-101	1	A-101
2	A-102	2	A-102
3	A-103	3	A-103
4	A-104	4	A-104
5	A-105	5	A-105
6	A-106	6	A-106
7	A-107	7	A-107
8	A-108	8	A-108
9	A-109	9	A-109
10	A-110	10	A-110

## 整理カードについて

整理カードはハンガーの記号により、図のようにキー取付個所を記入後、ハンガーの横に接着してください。



KEYBOXは壁にも掛けることができますが、ハンガーだけでも携帯できます。